

令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報				
事務事業名		公共交通運行事業	担当課	都市計画課
総合計画	政策	快適に暮らせるまち	計画期間	平成13年度～
	施策	道路網・公共交通体系の整備	種別	任意の事務
	基本事業	公共交通網の充実	市民協働	企画立案への参画
予算科目コード		01-080401-09 単独	根拠法令・条例等	守谷市地域公共交通活性化協議会設置要綱，守谷市ノンステップバス導入事業費補助金交付要綱

なぜ、この事業を実施しているか？ 何をどうするための事業か？	
背景（なぜ始めたのか）	内容（何の業務活動をどのような手法で行うか）
平成8年9月に運行開始した福祉循環バスを平成13年10月からコミュニティバスに形態変更して運行していたが、様々な課題が挙がり、平成20年6月に「守谷市循環バスのあり方等研究会」を設置し、今後のバスのあり方等について検討した。その結果、路線バスとコミュニティバスの補完関係を明確にし、連携の強化を目的として平成20年度に守谷市地域公共交通活性化協議会を設置し、協議会を主体に公共交通の見直しに取り組み、平成22年度からモコバスを運行した。	令和元年度は、平成30年7月に策定した「守谷市公共交通網形成計画」に基づき、公共交通網の再編を行い、新たな交通手段としてデマンド乗合交通（守谷タクシー，小川交通，関東鉄道南タクシー）の運行をし、路線バス（関東鉄道株式会社）が運行しない地域のうち、通勤・通学者が多い地域と、新しい住宅立地地域にはモコバス2ルートを運行する。経費については守谷市地域公共交通活性化協議会へ負担金として支出する。 また、路線バスのバリアフリー化を促進するため、ノンステップバスの導入に対して補助する。
目的及び期待する効果（誰（何）をどうしたいのか）	
効率的で利便性の高い「将来にわたって持続可能な公共交通網の形成」を目指す。	
（参考）基本事業の目指す姿	
バス，鉄道等の公共交通による快適な移動を確保する。	

事業の課題認識，改善の視点（次年度にどう取り組むか）	
目的達成のための課題（問題点，現状分析，課題設定）	具体的内容とスケジュール
・市内公共交通再編による実証実験の検証（モコバス，デマンド乗合交通） ・モコバス車両買換え（R2.10月～運行開始に向けて）	・平成30年7月に策定した，守谷市地域公共交通網形成計画に基づき，令和元年度の市内公共交通再編による実証実験検証の調査結果を図るための公共交通活性化協議会の実施。 【モコバス】 4月～6月 データ分析 実証実験の検証 6月～8月 ルート案の提案，関係機関との調整 10月～ 新ルート再編 【デマンド乗合交通】 4月～6月 実証実験の検証 6月～8月 関係機関との調整 9月～ 検証に基づく運行 【協議会】 R2.5月中旬 ：第1回 R2.7～8月頃：第2回 R2.12月頃 ：第3回 【分科会】 案件により随時開催予定
改善内容（課題解決に向けた解決策）	
・市内公共交通再編による市民等の要望，意見およびデータの分析を行い，守谷市地域公共交通活性化協議会（事務局：都市計画課）で検証を行う。 ・モコバス：ルート再編 ・デマンド乗合交通：適正な運行時間，台数，予算 ・交通ブック作成：ダイヤ構成（モコバス，路線バス，デマンド利用）	
次年度のコストの方向性（→その理由）	
■増加 □維持 □削減	実証実験の検証により公共交通の見直しを図るため経費増が見込まれる。 ・モコバス→ルート見直し，運行時間の見直し等。 ・デマンド乗合交通→利用者の増加による，予約お断り件数の増加による運行台数の増と車両借上料の増。

H30年度の評価（課題）を受けて、どのように取り組んだか（R01年度の振り返り）	
H30年度の評価（課題）	R01年度の取組（評価、課題への対応）
平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づき、モコバス路線を見直すため、バス事業者（関東鉄道㈱）や地域住民等との協議を行い、平成31年4月から運行するモコバス路線の再編準備を行った。 新たな交通手段として、デマンド乗合交通を導入の為、市内タクシー事業者（守谷タクシー(有)、関鉄県南タクシー㈱、小川交通(有)）との交渉等を行い平成31年4月からの開始に向け準備を行った。 路線バスが運行していない地域へモコバスの運行を行った。	平成31年4月から1年間の実証実験として、モコバス路線の再編及びデマンド乗合交通の導入を行った。 検証の結果、モコバスでは、1便当たりの利用者数が目標値に対し、2.1人上回る8.8人となり、1人当たりの運行経費では、目標値に対し、39円減少となる539円となったことから、運行経費を減らしつつ、効率的な路線再編を行うことができた。 デマンド乗合交通では、新型コロナウイルス感染の影響で延べ利用者数は目標値に達しなかったものの、利用登録者数では、目標値を1,183人上回る2,683人の登録があったことや、1人当たりの運行経費では、目標値に対し、134円減少の1,866円となる等、市民にとって有効で

評価（指標の推移、今後の方向性）					
指標名	基準値（H26）	H30年度	R01年度	R02年度	目標値（R03）
モコバスの年間利用者数（人）	138, 243. 00	139, 057. 00	54, 770. 00	56, 000. 00	57, 500. 00
デマンド乗合交通の年間利用者数（人）	0. 00	0. 00	13, 274. 00	15, 000. 00	17, 000. 00
成果の動向（→その理由）					
■ 向上 □ 横ばい □ 低下	平成30年7月に策定した守谷市地域公共交通網形成計画に基づき行った、令和元年度の公共交通網の再編実証実験では、検証の結果、運行経費に見合った利用者数を確保するために、1便当たりにおける利用率の向上を目的としたコンパクトな路線へ切り替えることができた。また、新たに導入したデマンド乗合交通では、交通弱者の通院や買い物等の需要に合致し、本格運行に向け高い期待度を得ることができた。				
今後の事業の方向性（→その理由）					
□ 拡大 □ 縮小 □ 維持	■ 改善・効率化 □ 統合 □ 廃止・終了	今回の再編実証実験の結果を踏まえ、その中の課題や集計した利用実態等を基に、効率的で利便性の高い「将来にわたって持続可能な公共交通網の形成」を目指す。			

コストの推移						
項目		H29年度決算	H30年度決算	R01年度決算	R02年度予算	R03年度見込
事業費	計	94,536	95,104	55,450	89,778	89,778
	国・県支出金	620	0	0	2,850	2,850
	地方債	0	0	0	0	0
	その他	0	0	0	0	0
	一般財源	93,916	95,104	55,450	86,928	86,928
正職員人工数（時間数）		1,498.00	3,351.00	3,526.00	0.00	0.00
正職員人件費		6,142	13,990	14,467	0	0
トータルコスト		100,678	109,094	69,917	89,778	89,778